現在は、当町の地域特性や生活動線に適した運行方式であるかなどを確認するため、実証事業として実施しているところであり、利用者の声を幅広く聞きつつ、より安全で利用しやすい運行体系となるよう、検証と見直しを重ねて行くこととしております。

本実証事業で導入したＡＩオンデマンドバスは、地域を運行する巡回バスとしての役割に加え、通院・買い物支援バスとしての機能も兼ね備えており、従来のコミュニティバスと比べ、より多機能な公共交通体系となっています。

今後、事業を推進していくにあたり、町民の皆さまはもとより、運行を担うバスドライバーの方々とも十分に協議を重ね、より安全で快適な運行となるよう取り組む所存です。

８　令和７年度定額減税不足額給付金支給事業の実績について

町では、デフレ完全脱却のための総合経済対策として、令和６年度に実施しました「定額減税調整給付金」に不足が生じる方や、定額減税の対象外で、低所得世帯向けの給付金を受けていない方に対し、追加分を支給する事業を実施しましたが、本年11月末をもって完了しましたので、その結果を報告します。

予算措置段階では、短期間での迅速な給付事務を進めるため、国の方針により対象者を１０４７人と最大限に見込んでいましたが、結果として、４６３人に対し、総額１２３７万円を支給しました。

教育長行政報告

１　町立学校あり方検討委員会の設置について

第３回定例会、町長の行政報告において、教育環境の質を高め、子ども達の健やかな成長を支える基盤づくりのため、老朽化が進む小中学校の改築について、北星町開発用地の一部を新たな学校用地の候補地として協議することが、報告されたところであり、同定例会において町立学校あり方検討委員会に係る補正予算を議決いただいたところであります。

町立学校あり方検討委員会は、その設置目的を『少子化および学校施設の老朽化に鑑み、将来的な学校環境整備を進めるにあたり、地域性を踏まえた町立学校の適正規模、適正配置および施設整備のあり方について検討する委員会』と位置付け、令和２年10月に策定した『新冠町小中学校適正規模・適正配置基本計画』では同委員会からの答申に基づき策定された活動経過があります。

本年10月21日に改めて、学校現場枠として小中学校の管理職、保護者枠として各校ＰＴＡ会長とド・レ・ミ保護者会会長、社会教育委員協議会会長、学校運営協議会委員の10名を委員として委嘱し、第１回目の委員会を開催したところであります。

委員会では、新冠中学校は令和14年度、新冠小学校は令和17年度が改築の目安となる築60年を迎えること、改築先の候補地が北星町開発用地であること、ここ数年の出生数も鑑みた今後の児童生徒数の推計、また、学校種である義務教育学校、小中一貫校の制度概要とそれぞれの比較を事務局から説明したところです。

第１回目の委員会でありながら、特に学校種の違いについての質疑など積極的な議論が展開されました。

第２回目を今月16日に、３回目および４回目を年明けに開催を予定しており、この協議を終え、年度内に教育委員会に答申される予定となっております。この答申を受け、教育委員会としてさらに協議し、来年度早々に学校改築の時期、場所、学校種などについてお示しすることとしておりますので、よろしくお願いします。

２　令和７年度新冠町少年国内研修交流受入事業について

本年度実施の新冠町少年国内研修交流事業につきましては、第３回定例会においてご報告させていただき、現在、事前研修などを行いながら、現地への研修に向け準備を進めているところでございます。

本国内研修受入事業につきましては、研修の当初からの目的でもあります子ども達の交流を通しながらお互いの地域への交流を深め、お互いの子ども達がより良い体験ができるよう連携を図りながら進めておりまして、金武町からは３年に一度、来町することとなっており、本年度がその受け入れの年となります。

研修は２月20日から23日の行程で、当町には20日から21日の１泊２日の日程で実施予定されております。

受け入れに際しましては、今年度の国内研修参加者、昨年度参加した児童およびその保護者へ呼びかけ実行委員会を組織した上で、実施内容、受け入れ態勢を協議したく考えております。

国内研修における金武町との交流は、平成24年度から始まっており、本年で13年目になりますが、その都度、盛大な歓迎とおもてなしを受け、その感謝と深い敬意を込めて、受け入れしたく考えております。

つきましては、本事業に対しまして、議員各位、町民の皆さまの深いご理解とご協力をお願いします。

まちの話題 あれこれ

雨にも負けず人馬が躍動
ホロシリ乗馬クラブが乗馬大会を開催

11月２日、にいかっぷホロシリ乗馬クラブは第28回乗馬大会を開催し、新冠乗馬スポーツ少年団の団員ら約40名が出場しました。

競技は、基準タイムへの近さを競うジムカーナ競技と障害飛越競技３種目の計４種目が行われました。

悪天候ではありましたが、出場者たちは人馬一体となって競技に全力で臨んでいました。

株式会社ｍｍガードが
朝日の森でドローン教室を開催

11月３日、朝日の森屋外でドローン体験教室が開催され、町内の親子16名が参加しました。無線機で「手を振って」など連絡をとりながら、動く被写体の撮影に挑戦し、参加者は「本物のドローンカメラマンになった気分」「テレビで見るのと同じでカッコいい」と楽しみながら操作を学び、最後にはスキル修得の証として修了証が手渡されました。

今年は中学生も参加
議員が町民と意見交換会

町議会議員は、レ・コード館交流の広場で意見交換会「Ｒｅ：議会」を開催しました。

２年目となる今回は町民との意見交換に加え、中学生ボランティア団体「Ｒｅ子ボラ部」との意見交換も行われ、11月17日には12名の生徒が参加しました。

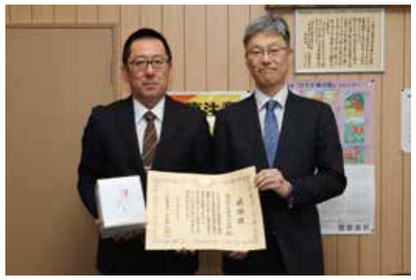
意見交換会は４つのテーブルに分かれて進められ、生徒たちは議会の開催回数や議員の仕事について学び、自分たちの考えを議員へ伝えました。終了後、「議員の仕事を知らなかったのでためになった。議会に興味をもった」と生徒は話していました。

字東町の故・関口幸洋さんが
瑞宝単光章を受章

このたび、故・関口幸洋さん（字東町）が瑞宝単光章を受章しました。関口さんは昭和62年11月に日高中部消防組合へ入職し、その後37年にわたり消防業務に従事してきた功績が評価されたものです。

叙勲伝達式は11月６日、日高中部消防組合新冠支署で行われ、職員に見守られる中、山本町長からご遺族へ勲記と勲章が伝達されました。

長年の租税教育が評価され
新冠小学校に浦河税務署長表彰



新冠小学校は、租税教育の推進に尽力し、正しい知識の普及に貢献したとして、浦河税務署長表彰を受けました。

表彰式は11月17日、新冠小学校で行われました。表彰を受けた原田賢校長は「税の仕組みや納税の大切さを学ぶ授業を継続してきたことを評価していただき、大変嬉しく思います」と述べました。